

出初式

言わずと知れた消防団活動の花形。指揮者の号令により班員が一斉に行動する「通常点検」や、放水により標的を倒すまでの時間を競う「標的倒し」などが行われます。



上／通常点検



左／消防団には音楽隊もあります



上／標的倒し

任命式、訓練・救命講習

町長が団長を、団長が副団長や分団長などの幹部、新入団員を任命します。その後、益城西原消防署で、「きをつけ」や「右へならえ」などの基本的な動作の訓練や、AED使用方法などの救命講習を受けます。



団長への任命書交付



消防署での訓練。ホース延長

1月

2月

3月

4月

5月

6月

春の火災予防運動

消防団の重要な任務の1つ「予防消防」のための活動。それぞれの班が担当する地区内を巡回し、火の用心を呼び掛けます。

火の用心



益城町消防団小型ポンプ操法大会 ※2年に1回

操法大会は、全国大会が行われる消防団活動の一大イベント。実際の火災を想定し、指揮者の指示の下、3人の団員が、積載車に搭載されている小型ポンプから3本のホースを連結し、火点（火元に見立てた標的）を倒すまでのタイム、動作の正確性などを競います。なお、上位2チームは7月に開催される上益城郡大会に出場します。



小型ポンプ操法大会

上益城郡消防大会

（操法大会・通常点検）※隔年交互に開催

操法大会は、郡内5町が県大会出場を懸けて競います。なお、本町が出場する小型ポンプ操法以外にも、ポンプ車操法も行われます。また、操法大会がない年は、各町から幹部や班長などが集まり通常点検が開催されます。出初式よりも大人数で行われるため、団長の指揮で一斉に行動する団員たちの姿は圧巻です。

非常呼集訓練、秋の火災予防運動

11月9日の「119番の日」に合わせて、非常呼集訓練が行われます。防災行政無線によるサイレンが鳴ってから迅速な集合を目的とした訓練で、火災発生場所（想定）に集合した各班が放水を行います。また、この時期に合わせて秋の火災予防運動が実施され、各班とも地区内を巡回し、火の用心を呼び掛けます。



非常呼集で放水訓練

7月

8月

9月

10月

11月

12月

「益城町みんなの夏祭り」の警備

各分団が毎年持ち回りで夏祭り会場の警備などを行います。また、花火打ち上げ場所の近くで放水の準備をし、万が一に備えます。

※現在は休止中



年末警戒

火器の使用が増え、空気が乾燥する年末に特別警戒を行うもの。町長および団長や幹部が各班（現在は各分団）を巡回し、団員を激励します。



年末警戒。役場仮設庁舎前出発式

【その他、1年を通しての活動】



熊本地震。道路のがれき撤去にも活躍

- 町内で建物火災が発生した際の、消防署の後方支援（車両の誘導など）。場合によっては、初期消火も行います。また、重要な任務として、消防署による消火活動が終わった後、火の番をして残火警戒に当たります。
- 大雨や台風など災害発生時は、地区内を巡回したり、小型ポンプなどによる排水作業、土のう積みなどを行います。また、熊本地震の際には、救助活動、交通誘導、ガスの元栓閉めや電気ブレーカー遮断などの広報活動、不審者への警戒活動などを行いました。
- お祭りや「どんどこ」など地区の行事に参加し、地域コミュニティの形成に一役買っています。